



清らかな妻娘を

狂わす魔の誘い

美しき国に

忍び寄る悪意

謀の淫しと墮國

~安寧の地を侵す毒~

行けーッ!!
攻め潰せーッ!!

一揆衆
槍隊突撃イ!!

あで
艶家の悪政
許すまじイ!!

邪宗法師
だににゆうどう
一揆衆大将
壁蝨入道

うおおお!!

あでのくに
艶国は今
乱れていた





艶国中から蜂起した
一揆衆は濁流の如く

艶の主城に
襲いかかった



我を忘れて
戦い狂う

貧民の群れ

それを眺めて

壁蝨入道は
ほくそ笑んだ

ニヤリ

なんだ…これは…

なぜこうなった…!!

なぜ一揆など
起きるのだ…!?

我が治世は…
安寧では…
なかつたのか

あでしよう
艶城城主
あで
艶紫喜
むらやま

正中門が
破られたぞー!!

雪崩れ込めー!!

退けえッ!!



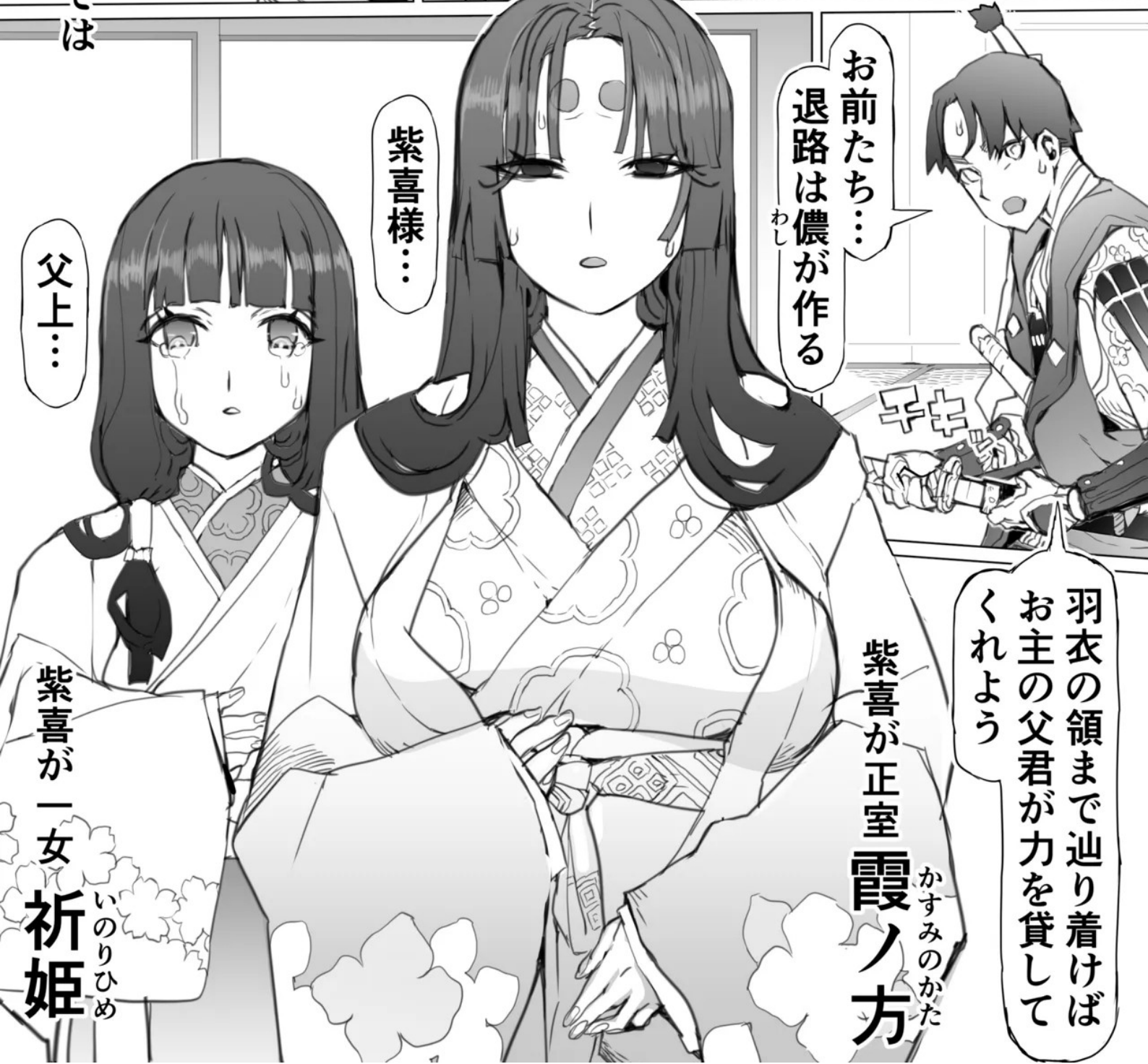


一揆衆の先鋒が
城郭内にッ

その勢い
凄まじくッ

信じられぬ…ッ

ただの一揆衆では
ないのか!?



お前たち…
退路は儂が作る
わし

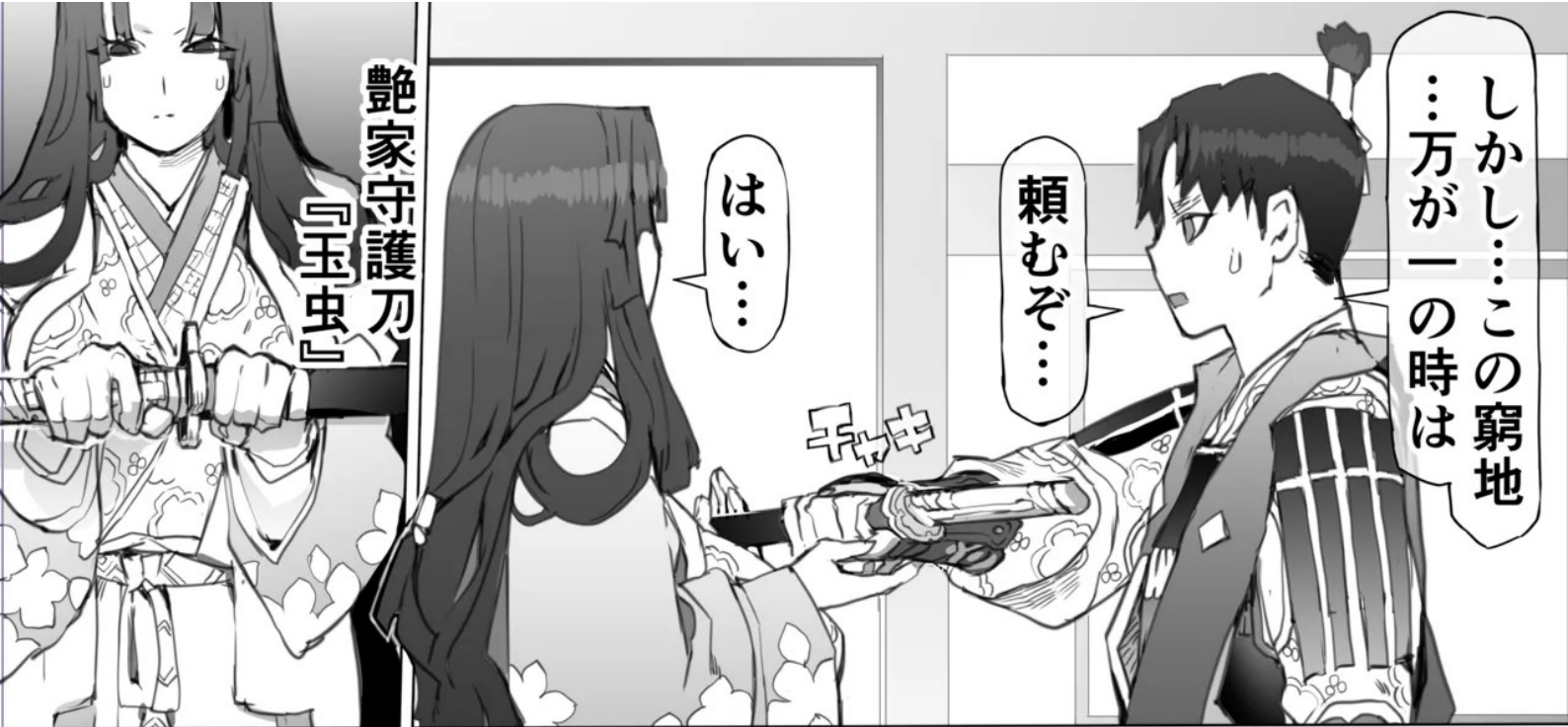
紫喜様…

父上…

羽衣の領まで辿り着けば
お主の父君が力を貸して
くれよう

紫喜が正室 霞ノ方
かすみのかた

紫喜が一女 祈姫
いのりひめ



しかし…この窮地
…方が一の時は

頼むぞ…

はい…

艶家守護刀
『玉虫』



武の妻として
虜囚の辱めを
受けず…

役目を果たす
つまり…



よし…皆の者!!

女子供を守りつつ
城を脱する

谷を抜け逆撫川から
羽衣国を目指す

儂に続いて参れ!!

紫喜様あ

すみませんねえ

貴様…

ぐっ…

な…ぜ…

な…ッ

何をする右時!!
みぎとき

右時イ? 笑
我は軀蛆
むくろウジ

壁だに蝨様の片腕
『寄生忍』の
蛆様よお♪
きせにん

生け捕りにさせて
もらいますぜエ

奥方様あ♪

艶ノ国 稲穂の海よ

徳の山 花の香そふ

民ぞ栄ゆる

艶国は

そう唄われるほどに
治政は安定し

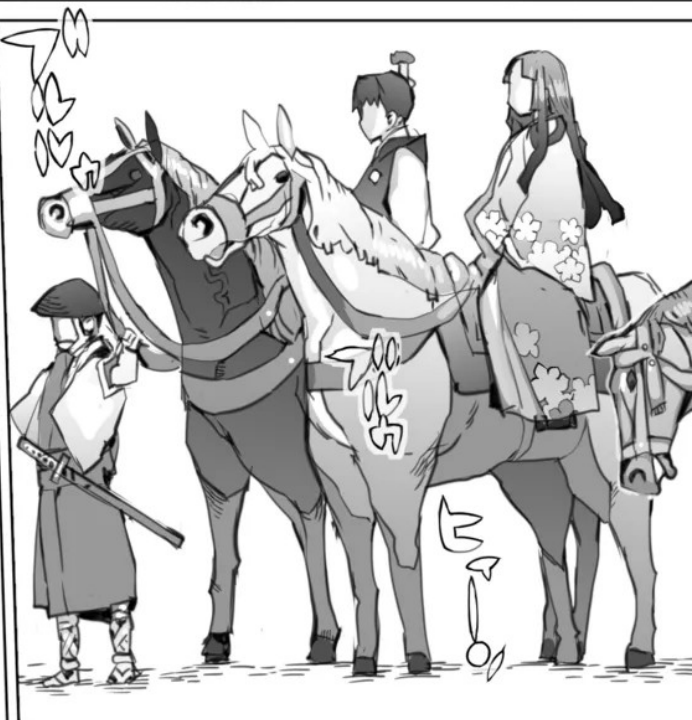
民は穏やかで
そして清らかであった



紫喜様

この国は
本当に良い国です…

私はこの艶に嫁ぐ
ことができて
幸福です…





うむ

この善き国が
続くよう

祈の婿選びと

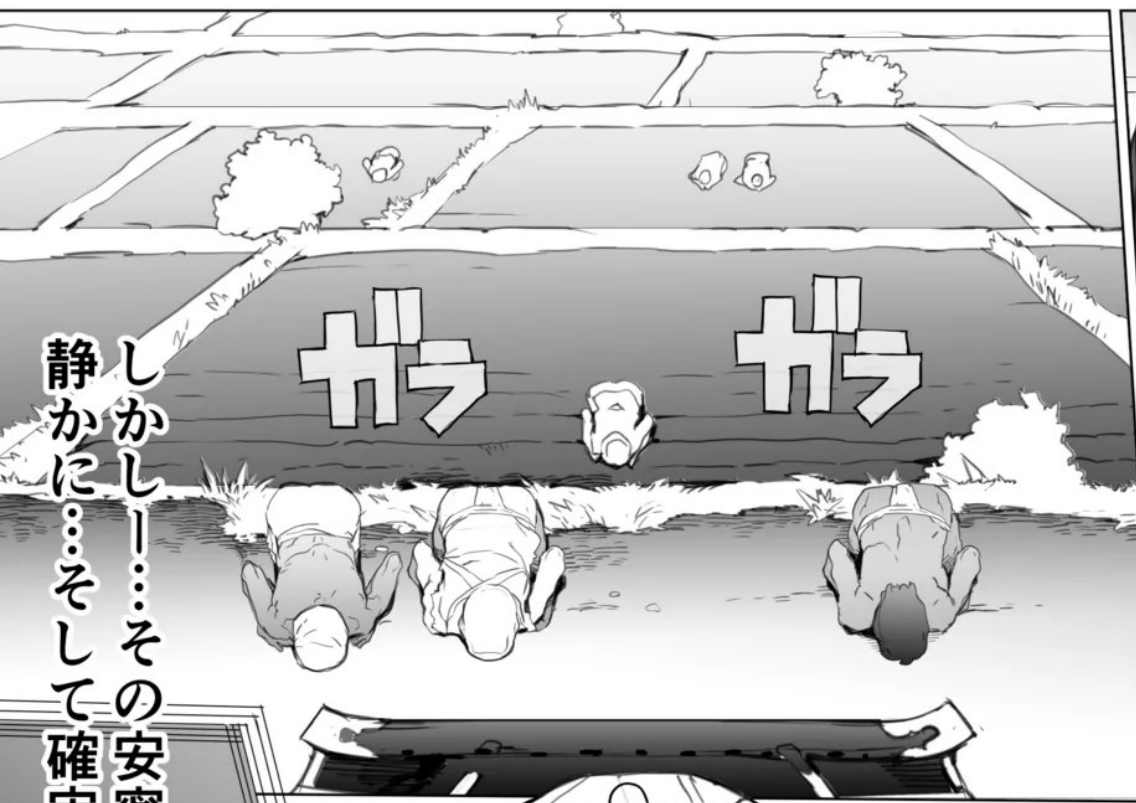
いりのり

それと…世継ぎが
できるよう

頑張らねばな

まあ

ははは



ガラ ガラ

しかし…その安寧は
静かに…そして確実に

足元から

腐り始めていた



フエ



艶国の山奥

壁蝨寺



壁蝨入道様

神仙の秘薬を
是非：また

私めにお恵み
くださいませ：

…ふむ
何を持ってきた？

はい米俵を
二十俵ほど

ほう♪

ようもこれだけ
『抜いた』のう

へえ♪

これも長の特権で
御座います♪

ほれ

おおおーッ
ありがたき幸せ

これぞまさに神の秘薬
皆この快樂欲しさに
家財を売り果たし

親は娘を

娘は娘で春を売って
これを欲する始末



良いのお♪
まさに快樂の極致♪

しかし…

お上に知られぬよう
気をつけよ？
お主を殺したくない

そうだ…
上がったけ

今宵の『行』は
なかなか格別ぞ

へえ…
へ…



ほれ
ガ
良家の子女
若君

これは…

壁蝨宗『上』信徒の
密行よ
みつぎはう



ちからを奮える者は
みな仲間じゃ笑

儂らの勢力がさらに
大きくなるために



良い良い

あしのような村長程度が
よろしいんですか？
むらおき



そしてその薬は
静かに……

しかし確実に
民を侵していった

おい

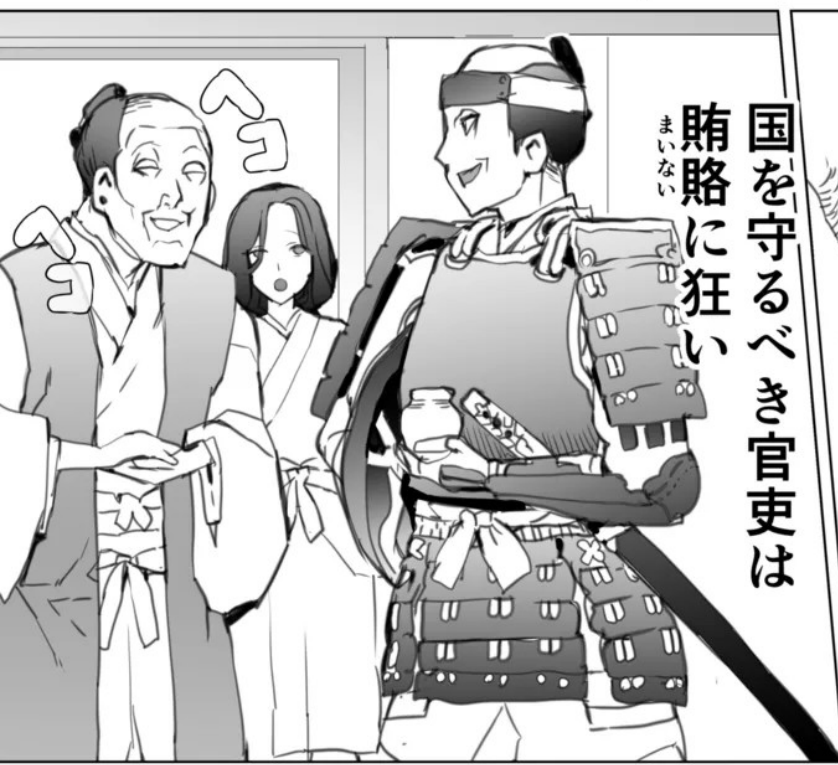
ん？

何かしら

お〜ッ!!

働き者の夫は
淫蕩に耽り

ほれコレ♪
どうだ



国を守るべき官吏は

賄賂に狂い
まない



あああ〜ッ♪

貞淑な妻は
悪徳に乱れた



オラッ♪

売女がッ♪

うッうッ!!

艶国は
端からじわじわと
腐りはじめていた

腐敗は正常な
経済を歪め

貧困を生み



国の片隅から

為政者への不満が

育っていった

艶家 滅ぶべし
死

悪政正すべし

艶家 滅死



そしてまさに今

その『民意』は暴徒
と化して狂乱した

と化して狂乱した



皮肉にもその『元凶』

壁蝨入道を神輿にして...

みこし

民よ津波のごとく
攻めたてよ!!

腐敗の病巣

艶家を根絶せよ!! 笑

その勢い凄まじく...

大将・艶紫喜公の

指揮を失った艶城は



またたく間に

落ちてしまった...



艶城本丸

入道様の御登城



皆の者

ようやってくれた

紫喜を捕えた今

艶国は我ら一揆軍のモノよ

それで…

艶の虜囚どもは？

はッ…

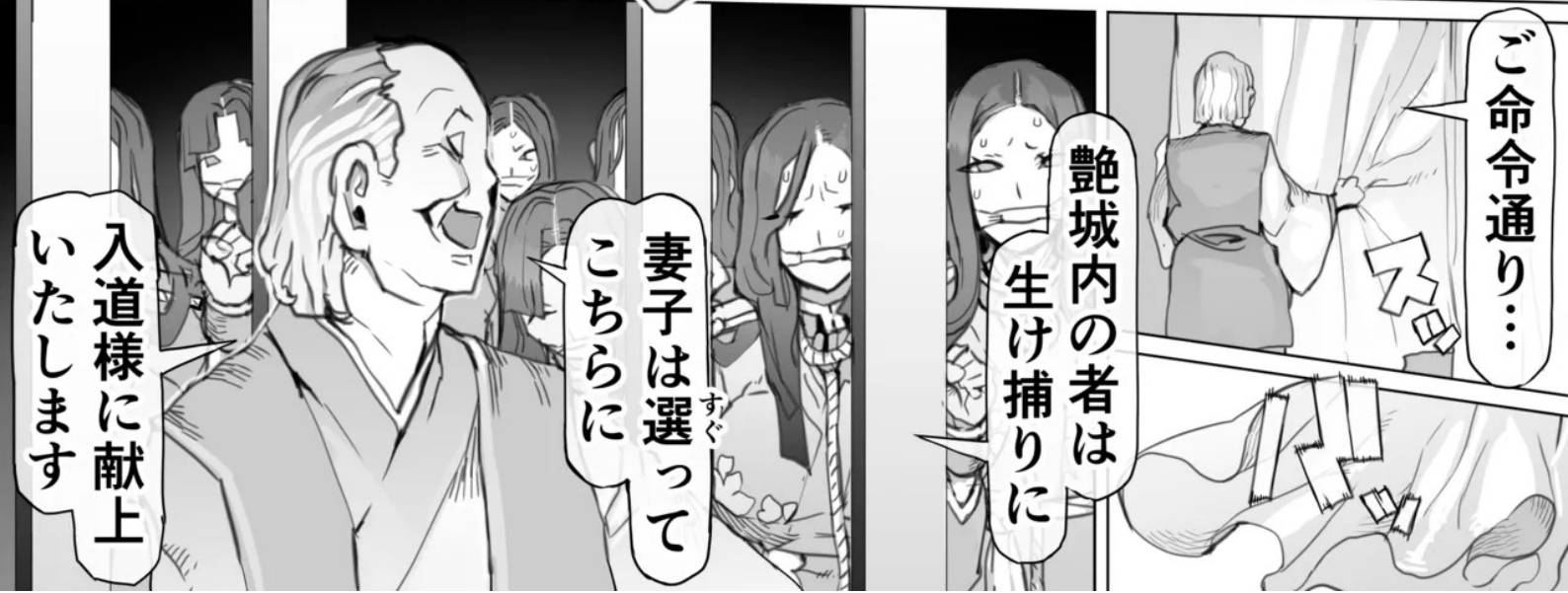


ご命令通り…

艶城内の者は生け捕りに

妻子は選すぐってこちらに

入道様に献上いたします



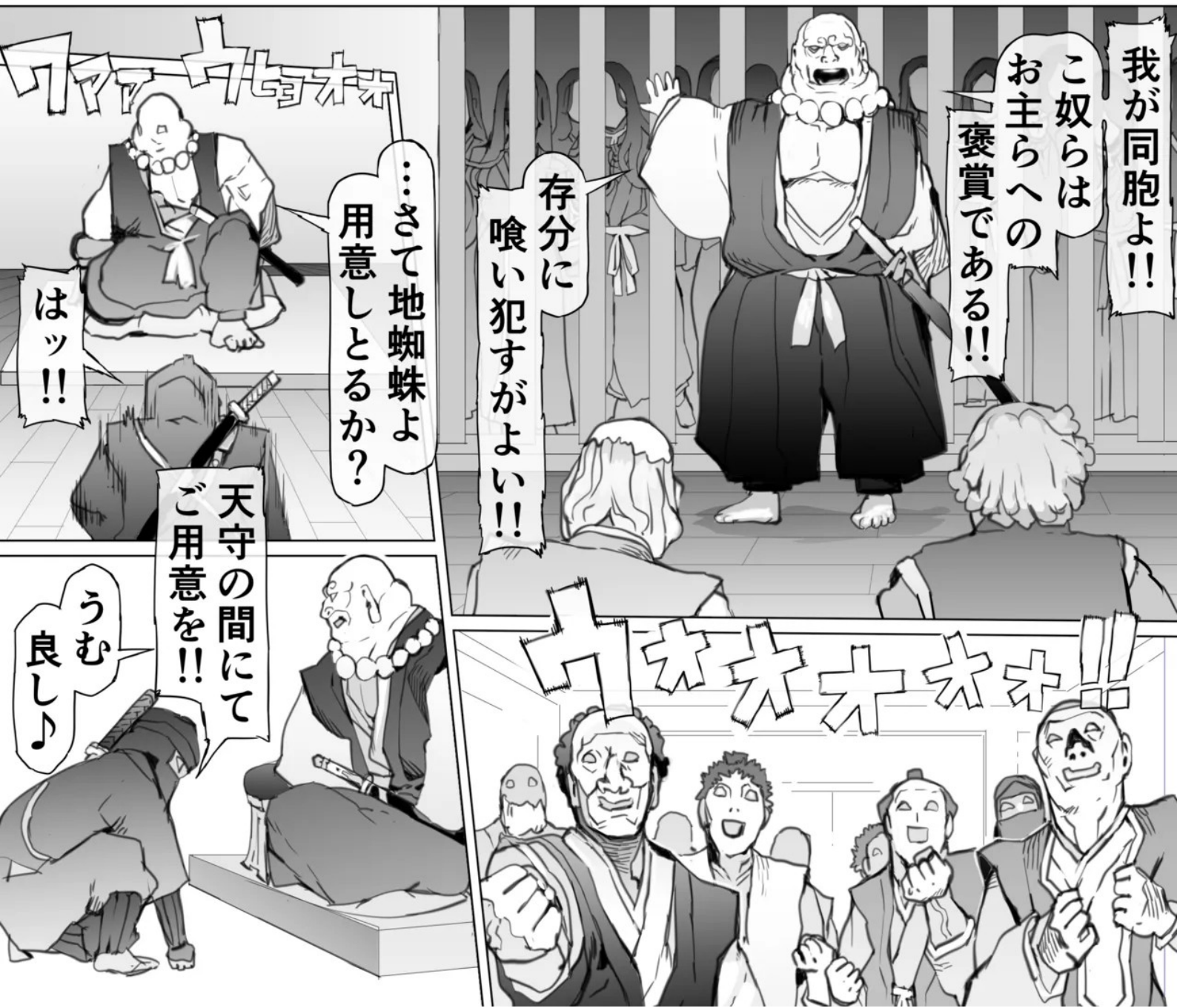


地獄を見せて
くれよう笑

我ら民から
生き血を吸って
肥えたか雌蚊め

髪肌も良い
良いモノ食うて
おったのだな

ほう♪
良え眺めよ♪



我が同胞よ!!

こ奴らは
お主らへの
褒賞である!!

存分に
喰い犯すがよい!!

…さて地蜘蛛よ
用意しとるか?

はッ!!

天守の間にて
ご用意を!!

うむ
良し♪

ウオオオオ!!



楽しめ皆の衆

そして...

狂乱の宴がはじまった

俺んだ
コラ

オレは
コイツだ



ゲヘヘ

触るなッ!!



うわああ!!

オラあッ

オラ

オラ

うわああ

オラ

オラあッ



我は『艶ケ槍衆』
あでがやりしゅう

奏竜巻が一女
かなでたつまき

奏調であるぞ!!
かなでしらべ

辱めず殺せ!!

下賤の者どもめッ!!

はあ
はあ

アッ
アッ



ああ〜？

誰？

何イ？
槍イ？

オレらの槍でも
磨いてろよ笑



目ヤバ笑

高貴な御方でも

味わったことがない
エグ快感じゃろ♪



さっすが

壁蝨様の秘薬よお

お!!

お!!

お!!

吸わせりや一発
雌豚完成よお♪



あ

あ

壁蝨の御大将

ふとっぱらだぜ♪

秘薬をこんなに使
い放題とはな♪

おお♪

おめえらに

『貴人様』に使い方
教えてやるぜ♪

まず

柔らかく揉んだ
紙丸めてよお

チュツと吸わせる

んで…

オラ

イツ

こっち向け!!

鼻に…こうツ

これで一発よ

すげえだろ♪

くるだろオ?

興奮と快感が
脳ミソ焼くだろオ♪





紫喜正室娘の
捕縛成功のオ

勲功第一位

軀蛆様の種を
有難く拝領せえい♪

情報操作に
機密漏洩イ♪



オラ
どけエい♪
お通りだあ♪

オラッ



ほくれ効くべ♪

吸えッ

吸え♪

こゝれでもう
なゝんも考えられねえ



オラ吸えッ♪



オレはコイツで

『貴人の奥方』って

ヤツが
肉虫になる瞬間が
たまになくてなあ

オラどうだッ

蛆様の穴に
選ばれたこと
光栄だろッ♪

興奮するだろッ

この時のためなら
何年だって潜って
られるってもんよ



オラッ肉虫ッ

下民の口吸い
イイだろッ♪

お前は下民卑民以下の
孕み肉になるんだぞお♪

オラッ!!

おらッ!!

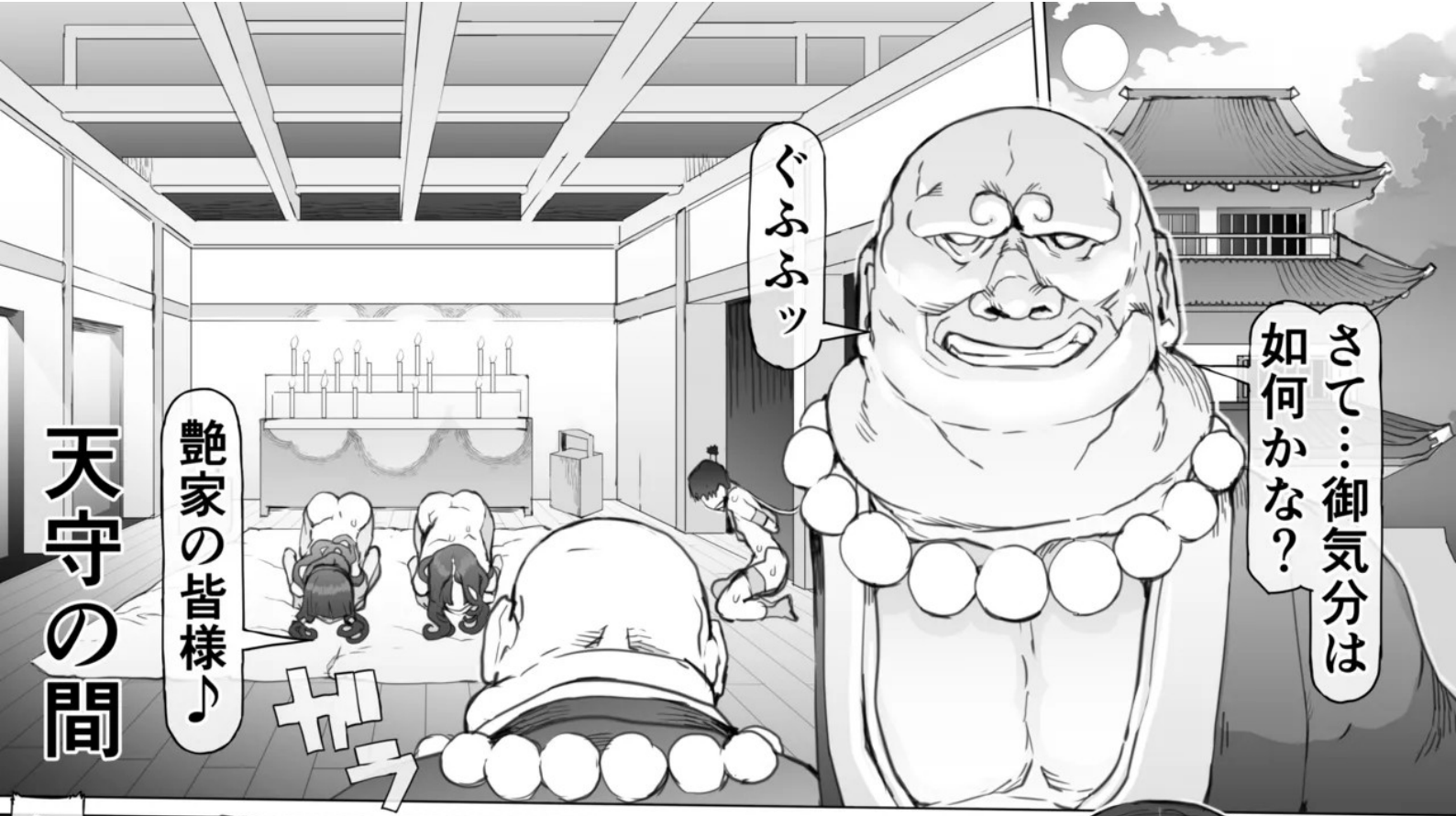
オラあッ!!

敗戦マ○コ

死ぬほど逝かせ
てやるぞおッ♪



うあああ
あああ
あ



ぐふふッ

さて…御気分は如何かな？

艶家の皆様♪

天守の間

ガッ



うう…

ッ…

強制平伏が
良し♪

フフフ…♪

キッ

キッ

キッ

キッ



キリッ

それよ♪

敗北者の
その怨嗟の目



ギン

ぐうう
ううッ!!

紫喜公



死に損なつた
のう笑



ゴォ
オォ

壁蝨入道こと

壁蝨缺角である!!

しかしてその正体は…
隣国黒雲の隠忍頭
くろぐも おにがしら



スル

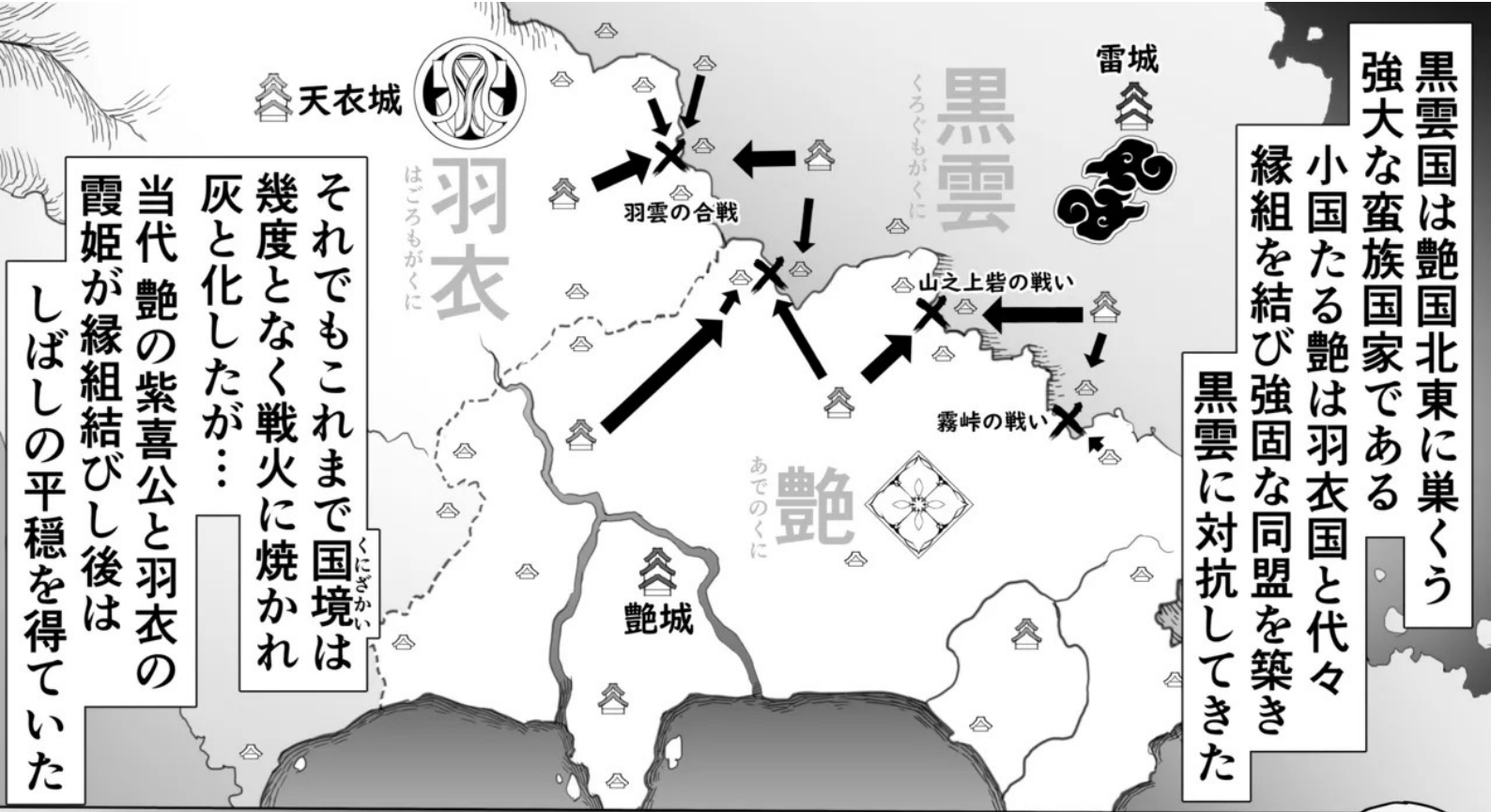
その目を
挫き
平伏を自ら
行えるよう



ワシは一揆衆大将
そして壁蝨宗法師
だに

教え込むのが
ワシの真の務めよ

スル



黒雲国は艶国北東に巣くう
 強大な蛮族国家である

小国たる艶は羽衣国と代々
 縁組を結び強固な同盟を築き

黒雲に対抗してきた

それでもこれまで国境は
 幾度となく戦火に焼かれ
 灰と化したか…

当代艶の紫喜公と羽衣の
 霞姫が縁組結びし後は
 しばしの平穏を得ていた



我が御大将はすでに
 兵を蓄え

羽衣との戦を
 見据えておられる

艶は落として
 おかねばならんが
 しかし今…

表立って黒雲の兵を
 動かすわけには
 いかんでの



貴国の愚民を唆して
 使わせてもらったわ笑

ワシが憎いか?

あ?

憎め!

その目を媚びた目に
 変えるのがいいのだ



ほれ♪

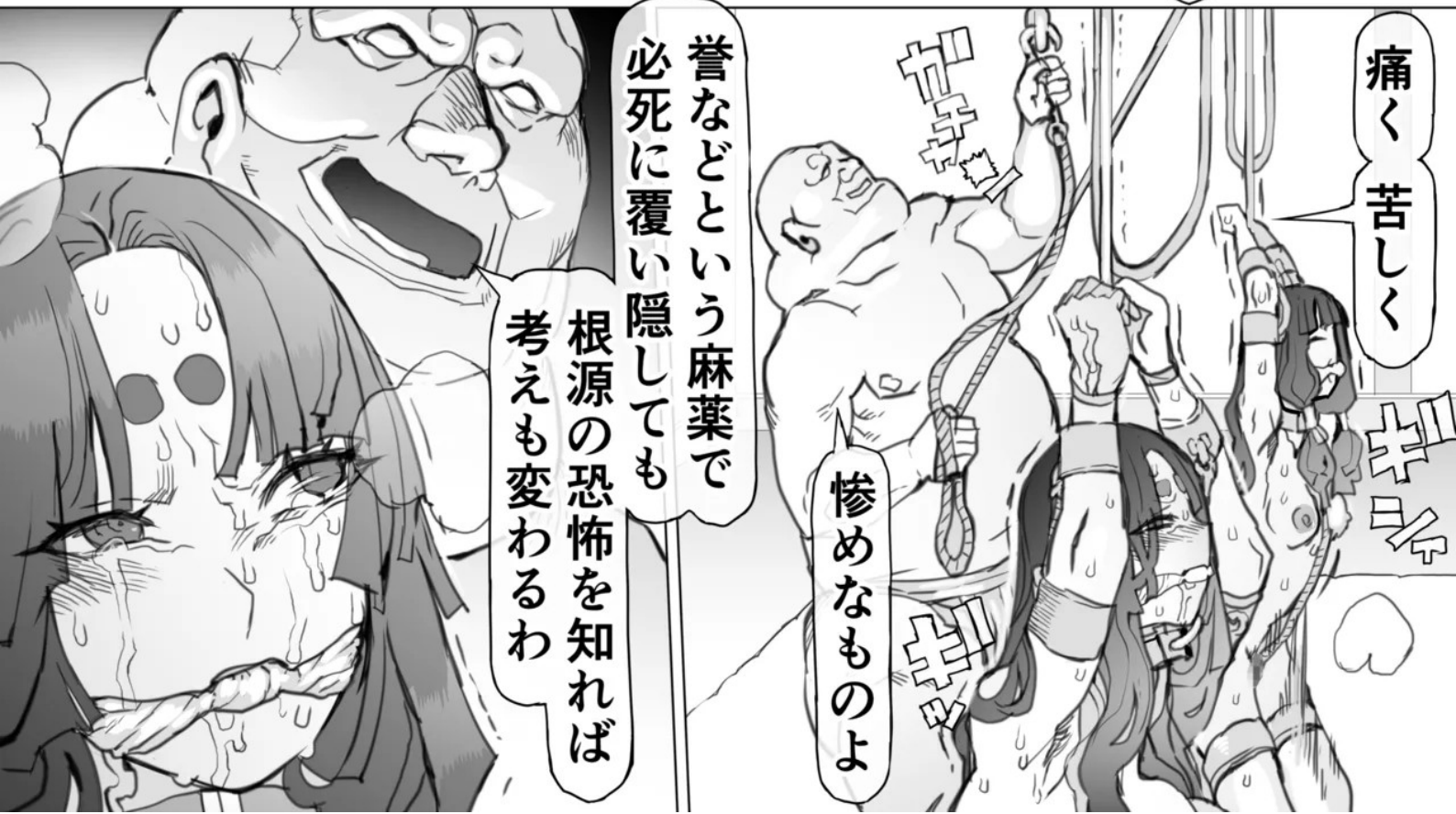
頭を上げよ♪
こらべ

武の妻として
はようと自刃すべき
であったと思うか？

うん？笑

死は怖ろしいぞ〜♪

武家の矜持など
己をまやかす幻よ笑



痛く苦しく

惨めなものよ

誉などという麻薬で
必死に覆い隠しても

根源の恐怖を知れば
考えも変わるわ



生きるという
素晴らしいさを♪



俺がちやくんと
教えてやる♪

生きることが
最高の目標だと♪



ほれ
死んでみよ♪

ぴぐッ...



オラッ♪

いくぞ
味わえ♪

『死』だ♪



武家の誉ぞ笑

ほれ♪

首を絞めるだけで
絶望の苦しみよ
オラ死ぬぞ♪

死だ



呼吸が恋しいだろ♪

息ッ...
息ッ

呼吸のためなら
何でもしたいだろ♪



潔い死?
幻想で塗りたくっても
これが真よ笑



おお♪
小便漏らしか笑

これが死だ

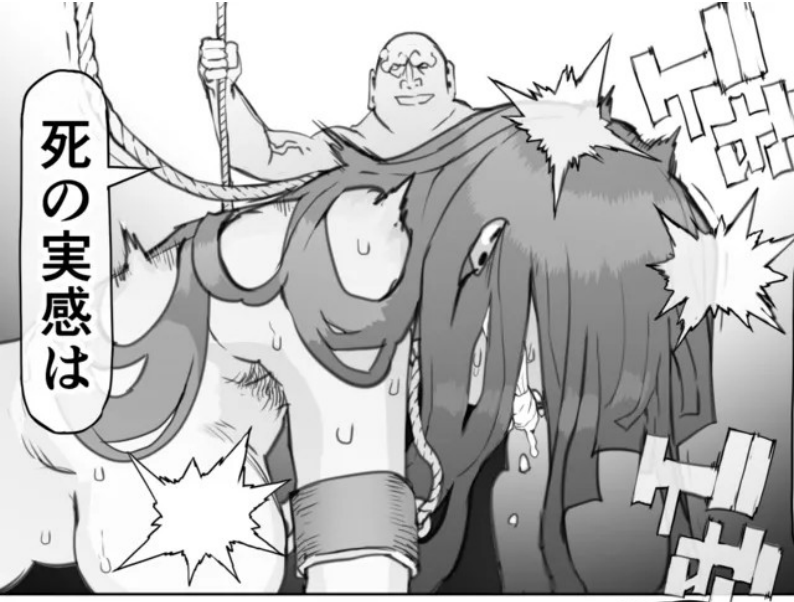
ほら死

死!!

どうだあ?
ああん?



死にたいかあ?
理解できたか?
これでも笑



死の実感は



どうだあ？



死を覚悟している
などと

虚勢をはっても

死は
人生でたった一度

命にとって根源的
最大の恐怖なのだ



まあ良い

命は大切に
するもの
誇りや誉などよりも

すぐに
そうなる笑



生きたかろ？

まずはこれから
はじめようか♪



痒みを与える膏と
感覚を尖らせる膏

何…

やめ…

特別製の秘薬を
二種混ぜた物だ
効くぞお〜♪

ワシの特別製だ



ワキ

焼けるように
熱くなってくる

しっかりと塗りこんで
しばらくすると
肌が赤く染まり

ほ〜れ♪
乳首



うツ…



そして
陰部じゃ♪
ホト

なんだあ?
濡れておるゾお笑

淫核も

膣内も♪



んんッお!!
(やめろッ!!)

んああアッ!!
(触るなアッ!!)

あなた...ッ
大丈夫...ですッ...
これでも...ッ
武家の妻ッ...

うるせえなあ笑

死せずとも...心はッ...
心は辱められませんッ...!!

ほお〜♪

ヌク



そのような事が
言えるのも 今のうちよ



肛門

ぐうううーッ

僕は優しいからのう♪



足指

『そんなモノ』
捨てやすくして
進ぜよう♪

誇りなど

半刻もすると
気が狂うほどの
痒みが襲い来る



地獄の快樂ぞ笑
存分に味わえ♪

気が向いたら
主たる我の『情け』を
与えてやろうぞ♪

あ〜…

オイ地蜘蛛ッ

はッ



そ奴には

死蜂を呼んでやれ笑

はッ





アハハ
そろそろ
限界かの♪



いつ見ても耐え狂う
この舞は良い♪

どうだあ？

肌も疹で紅に
染まったか

ツライか？



なんだあ？
どうしたあ？
これからが
本番ゾお？

さあ掻いてやるぞ
ほおれ♪

あう
ああ

さわ

さわ

ざわ
ざわ



ほれ♪

どうだあ？
そんなにイイかあ？

チリ
チリ



乳首絞りッ♪

ぶっ飛ぶだろ

マ○コ
糸引いてるぞ笑

トロア

チリ
チリ



すごいぞお
気持ちいいぞお〜♪



今ココ掻いたら

これで穴の中
かき混ぜられたら



すでにこちらに
おお呼べ

死蜂は

はッ

地蜘蛛

腰へコッて
るぞ笑

そんなにワシの指が
欲しいか?
あ?笑



これはまあ
お愉しみで
したのね♪
おう

おお
死蜂
参れ♪

お前にこの
城主・紫喜を
与えよう
と思うてな♪

それは恐悦至極♪
妻子奪われて
イイ顔♪
うーっ!!

鉄角様
お呼びですか？

妻衆・拷問鬼

死蜂

ズー!!



毒で腐らせ

虜囚のオスの
睾丸を



ほら平伏せい♪

我は妻衆が
ひとり『死蜂』
お主の神である



ほーら
刺すよお♪

はーい♪では早速♪



ああ♪
元国主を処せる
なんて興奮するわあ♪

吐き出させる術に
長けておりますの♪

これが毒薬
『種殺し』♪



妻娘の前で
遠慮のう

種殺して
掻き混ぜて
やれ♪



おら♪

ほら♪

全然痛くない
でしよう? 笑



どう?
ムズかゆい
でしよう♪

『蚊毒』使ってる
からねえ♪



チ○ポ

気持ち良くなって
きたでしょ?

麻薬も入ってる
からこれ♪



でもほら♪
滅多刺ししてるから
玉の中死んでいって
るよお♪



効く?
効くでしょ 笑

ほら突きまくって
やる



あゝ興奮する



すごいわよお

ほら出せ♪
出せ♪

駆け上がってきた？
もう出るよオホラ♪



あ〜コレこれ♡
どくんどくん
金玉震えて♡



でッ…ううッ!!



早く腐った金玉ン中身
ぶちまけなあ♪

これ味わったらもう
普通の射精なんて
できないよお笑



あ〜出た出たあ笑

まあもう普通の射精
出来ないんだけど笑
(金玉死んだし)



頑張ったからご褒美
しましうね〜♪



おいた…
わしい…

なんと…



ほら奥方様♪
見てあげてえ笑

敗戦の印に玉袋を
殺しあげたわ♪

弱いから金玉死ぬのも
あつという間ねエ♪

うふふ♪

そ…んな

う…う



これは雄^{オス}として
我に敗けた姿だ

お前を守るべき男は
終わった
決着だ



見よ
コイツを見よ♪

死蜂を呼んだのは
お前らの希望を断って
理解らせるためだ

お前ら女囚たちはみな
『黒雲の女』になるのだ!

お前が心の底から
懇願するまで

何度でも何度でも
諦めさせてやるぞ

弱き者を見捨てよ
強きオスのモノに
なるのが

女の幸福なのだ!

ほくら…逝くぞ!

敗北の屈辱を
快感に混ぜよ!

たまたらんだろオ?
これが敗北の褒美だ!



ほれほれ♪

負け犬の無能夫に見せつけてやれ♪

どうだ？オラ

一緒にクソ穴もほじってやる笑

気持ち良いのがさらに絶望じゃろ

夫を壊されたというのに肉体はまるでケダモノよ



お前はクソ穴を虐められ

快楽を貪るケダモノだ

ほれ♪

諦めて
愉しむが良い♪

母上さま……ッ

ほれ♪

はあ

はあ

気持ち……

良さ……そう……

懇願せい

我が支配を
懇願すれば

コイツで腔内なかを
搔いてやる

豚腸皮の装具

ゴ
ゴ
ゴ

柔突起の
刺激が格別よ

ほら♪

こう言うだけだ

『我が主となって
下さいませ♪』

言え

ほれ♪

うッ!!

だッ…

誰が…そのような
…ことを…!!

我が主は
紫喜様のみ

滅ぶが…いい
この…下民…めが!!



ならば貴様に
施しは与えん

再び痒みに耐え忍べ

さすがは武の妻よ
気の強いことだ笑

そうか

よう言うたのう



代わりに娘...

お前に味わって
もらおうかの♪

お前に拒否はないぞオ♪

母親の目の前で
掻きむしって

イキ散らかさせて
やるからの♪

それ

いくぞお♪

お...願...

やめ...



祈ッ…!!

混ぜ

掻き

筆^ひり



お〜ッ♪

お〜ッ♪

絶頂



初物でもコレは

抉^えり

気持ち良すぎて

お母ッ…

見な…で…

あ？

痛くねエだろ？

掘^ほる

掘^ほる

掘^ほる



おッ

お〜ッ♪

狂喜



絞^{しぼ}る

絞^{しぼ}る

絞^{しぼ}る

このような快感 性の愉楽は
人生で初めてだろ 全部儂が
仕込んでやる
からの笑

はッ

祈…ッ
あんなにッ…

では次に… 『クソ穴』の快楽を
祈姫様♪
教えて進ぜよう♪

あ

あ

どうだあ?
コレ♪

そでッ
ダベえッ

あ

あ

ほれ♪
淫部も撫でて

尻穴の奥から子袋
かいてやる〜♪

豚腸皮
指にまいて

おら♪

クソたまんねえ
感覚だろお♪





おら♪

破滅的で

下劣で

絶望の快感だろオ?



いいわねえ♪

燃えてくるわあ♪

クソ穴を性に使うのは禁忌

なぜか知ってるか?

やめられなくなるからだよ笑



鳴きな♪

あんたもコレで



なあに♪

安心せい♪

貴様らの『躰け』には
子を宿さぬために
尻穴を使うのだが…

よい頃合いよ♪

うむ♪



クソ穴掘りの
味を知れば

やめてッ…
やめてえッ!!

膣なぞ突かんで
良くなる
ぞッ♪

だほほほ

あああ

みき

みち

あ

あ

母親を搔いた時

羨まし気に
見ておったの

そんな事ッ…

良い良い♪

お前は力づくで犯されて
いるだけじゃ♪

犯されるままに

この感覚に溶けて
いればよい♪

『仕方なかった』と

ダメよ…ッ祈ッ

搔いてッ

それは甘言ッ

私もッ

筆ってッ

敗けてはダメッ
武家の誇りッ

誉…ッ

何も恥じる
事はない♪

『私は
悪くない』と

突いてッ!!

誇りを持ちなさいッ



オラ見ろお〜♪
娘はオレの穴になって
生きることを選んだぞ

ぎもぢい〜ッ
い〜ッ

あん♪

あん♪

あん♪

あ
あ
すごいイイ〜♡

うううウ〜ッ!!

ぐッ!!

こっちも
イイみたいよお♪

負け犬の才能
あるわ〜コイツ♪
太いのこんなに
美味しそうに
飲み込んで♪

イグ
イツ…グッ!!

フル



しょうがねえなあ
味わわせてやるよ
良かったなあ笑

やはり羨ましく
なったかあ♪

なんだア
霞イ♪

ッあ



良い良い

ちが…ッ
やめ…ッ

無理やり征服して
やるから安心しろ

無心で愉しめばよい



やめッ…

母娘ともども
役立たずのことなど
忘れさせてやるわ

優しいだろ♪

ほれいくぞ♪

集中しろ



う!!
う!!

あ

あ

あ

あ

スゴ過ぎッ

おもしろいッ!!

!!!

あ

スゴッ

言わないでッ!!

あーッ!!

ダメッ:
イク

いぐッ!!

あーいぐッ

逝く

喜んで小便漏らし
がよ♪

狗と変らん

うあーッヤバッ

おくら♪
最高だろおくら?
良かっただろ

素直になれ♪
快感に集中しろ♪

貪れ♪

効くツ...!!

凄ッ

すっ!!

苦しんで我慢しても
損だろオ?

それッ

それッ

痒みが快感で
ぶち飛ぶツ...!!

来るッ

くる

あ
クル!!

それえッ!!

!!!



戦に敗けたんだ
敗けていいんだぞオ!

楽になるだろオ?

そうだよね…

もう終わったんだよね

もう終わった
終わったんだ

誇りなんて呪いから
手を放せば楽だぞオ

戦で敗けたから
解放されるのだ

敗けたから
解放された!

負けこそ快感

負けこそ解放

しかと覚えよ!

敗けたおかげで
より強い男に

弱いカス男から
選ばれた!!
奪っていただけだ!!

一揆なんぞでお前を
この儂が
焼いてやるッ
裏切った愚かな民は

村は火に焼かれ

踏み潰されッ

死ぬッ♪

お前は
この魔王の
下僕として蹂躪し

命を踏みにじるのだ!!

ああダメッ

ッレッ

ダメえッ!!

ぐうッ...おッ

急に締めてッ

きやがッ...て!!

う!!

お!!

お!!

お!!

来た

キタ

お!!

お!!

きたあアツ!!

う!!

誉も誇りもクソで
ヒリ出せッ!!

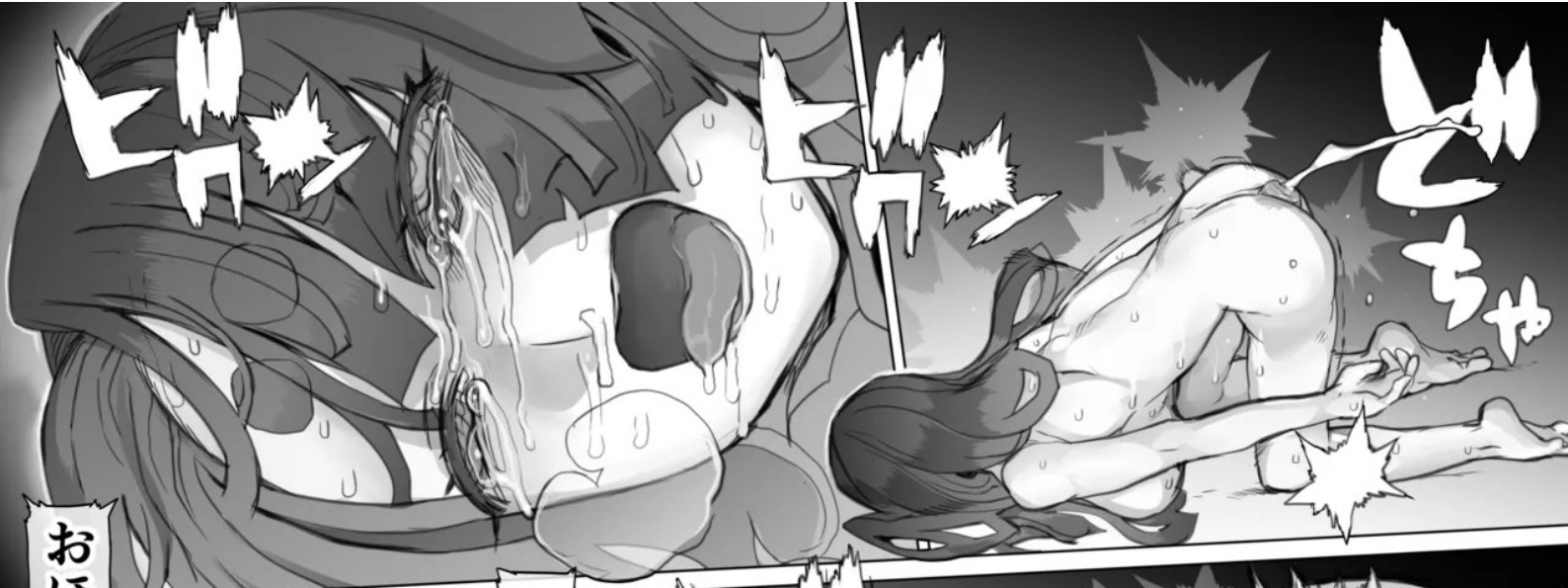
ゴミカス国に生まれ変われッ!! 黒雲の女だッ
クソぶっかけて
いいなッ:!!

ぐううう

オラッ排便しろッ

オラあッ!!





ど
ち
ゃ

おほ
ッ

オッ

おッ

おへ
♪

う
ッ
お
…
ッ

そ
う
だ
あ
〜
♪

ク
ソ
と
一
緒
に
全
く
部
出
せ
笑



ほれ♪

お前たちも
コレをやれ♪

下階では虜の女ども

みんなですくすくとコレを
愉しんでるぞ♪ もう気高いふりを
する必要はない

する

楽になるぞお♪

ちやくんと凡俗に
戻らせてやる笑

お前たちだけ逆らう
必要などないのだ♪

ほれ

吸え

おあッおあッ

おあッ

来る

ほらすげえの

来るだろお♪



おら♪
そうだ踊れ♪

ぐらん
ぐらん

儂の男根と一体化して

艶の民を虐殺する
想像をしる

快樂の揺れに
身を任せろ

艶国を火で焼く
想像をしる

あーあ

あ〜ッ

あ〜ッ

ああ〜ッ

艶国にクソする

自分を想像しる





コレ見ろ

飲め

おら薬水じゃ

はあ

はあ

はあ

う？

う？



目を離すなよ

火を見つめろ

ちからを抜け

あ...

ゆらゆら

ゆらゆら

は...

い...



ワシの声だけに
集中しろ...

ワシの声を聴け

ゆっくりり...

ゆらゆら

ゆらゆら

この薬水は

真のみを
すくいとる

己の心と向き合い
真の答えを得るが良い

虜囚の女には
ふたつの未来がある

壁蝨に身を捧げ...

大きく強い黒雲の
一部となるか...

苦痛にまみれて
みじめに死ぬかじや

想像しろ

想像しろ

艶の男たちは
みじめに敗けた

なんの善戦もなく

無意味に
一揆衆の男は
国を裏切り
暴れ

君主の紫喜も

今やあの様

お主らを守らず
クソ穴を快楽で
緩ませておる笑

緩ませておる笑



お前たちに咎はない…
トガ

ワシはお主ら女の
価値を認めておる

弱く情けなく…
無能な男たちの国など
どうでも良いではないか…

我に身を預け
新しき生を得よ



私は…

平伏…

いたしますッ



さあどうだ？ 祈姫

お主はどうする？

クズ男の国に
命を捧げるか？

それとも

新しき価値観に
平伏するか…？

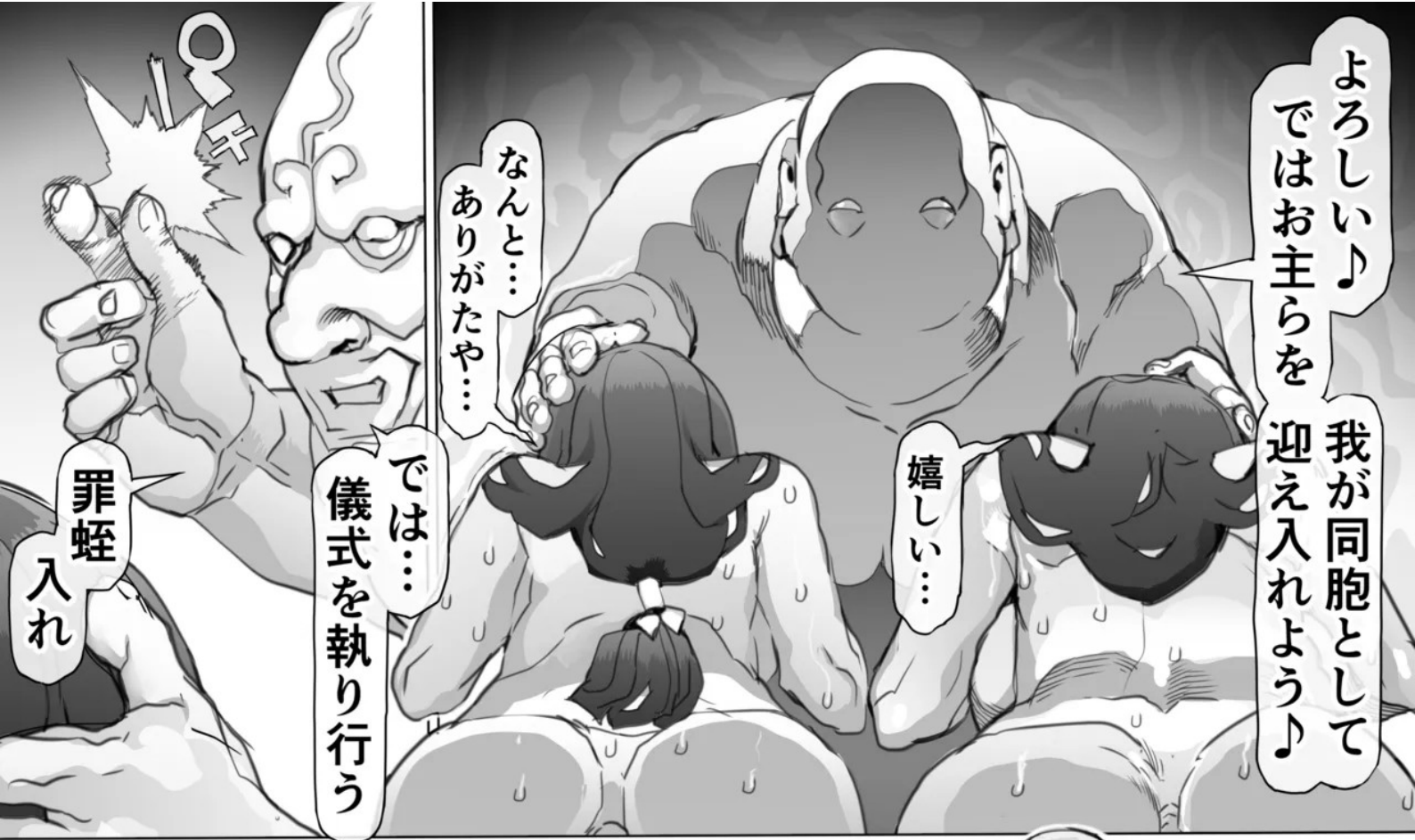


霞の方は
いかがする？

あ…

平伏…ッ

いたします…ッ



よろしい♪
ではお主らを
我が同胞として
迎え入れよう♪

嬉しい…

なんと…
ありがたや…

では…
儀式を執り行う

罪蛭
入れ



はっ

こやつは罪蛭
儀式の術師じゃ

蛭

『産み正しの儀』用意せよ
はっ

よいか？

一度は敵であった
お主たちが

壁蝨の徒となるには
儀式が必要なのだ

苦痛を伴うが
乗り越えてみせよ

はいッ♪



これより
お主らの肉体に

二度と消せぬ
邪印を彫る

生まれ変わりの禊みそぎ
償の痛みと違ってつぐない

受け止めよ



そして同時に
こ奴で

クソ穴を
掘り崩す

動いては
ならぬ



儂が容赦なく
掻き開いてやる
その感覚に
同化して

心の深層を
開き晒すのだ

オラ

オラ

ほれ

ぐ

うッ

うッ

ひぎッ

我に続き言え
繰り返すのだ

おのれ

己に命ぜよ

『我は壁蝨様の
崇拝者』

崇拝者』

我は壁蝨様の

崇拝者

我壁蝨様の

崇拝者

己の吐く言葉に

陶醉するのだ

『我は壁蝨様の
しもべ』

しもべ』

我は

壁蝨様の

しもべッ

言霊に

同化せよ

この背骨を走る
衝撃に同化せよ

んおあ
おからッ!!!

この突き崩しに同化し

暴力的に興奮せよ



このひと突きは烙印
このひと突きは許し

古き己を
掻き混ぜ
殺して貰う
想像をしる

う〜ッ



これより
『最難関』

襲う痛みは
忠誠に変えよ

そして…

施術が肛門に

達した瞬間…



全身の神経が
弾け飛んだ!!
稲妻!!

凄まじい痛みが

痒みに突き刺さる

筆舌に難い衝撃 この痛みが禊 忠誠の証

壁蝨様の赦し

!!!

ほれ 暴れてはいかん

儂に掴まるが良い

ほれ

寄りすが縋れ

抱き寄せられながら 必死で耐える母娘

壁蝨

壁蝨

助けを求めるように 縋りついた大きな体

それは

強烈な安心感として 心に焼きつけられた

この儀式は幾日も 幾日も続けられた



いいぞオ

穢蝶

けがれちよう

(旧・霞ノ方)



おお...



儀式を超えた
お前たちには

選ばれし壁蝨忍軍の
新しき名を与えた



あ...主様...

のろいちよう
呪蝶

(旧・祈姫)

悪

新しき名に従い
呪いと穢れを振りまく
蝶となれ

はい…♡

そうだ…いいぞオ

女を突き従わす槍ぞ
磨くように奉仕せよ

ほへ
ほへ

ほへ
壁虱

壁虱

淫 祀
卑

淫 祀
卑

ムム

ムム

祀

祀

悪

どうだあ？

生まれ変わって
しまえば過去など

どうでも良くなる
だろうか？笑

はい…♡

我にその命尽くさば
快樂の空を舞わせて

やろうぞ♡

壁蝨楼天守

(旧艶城本丸)



皆の者
ひかえよ

我は城主

壁蝨鉄角
である



これよりここは
黒雲国
壁蝨領となる

霞之方・祈姫は
その身を我に捧げ

名を変え
生涯の忠誠を誓った

そして艶国の
すべてを

我が黒雲国に
譲渡した





そなたたち

元艶家妻子衆に

この穢蝶が儂に
代わって申し渡す

よく聞け



皆の者 平伏した
まま聞け

壁蝨様は 強く聡明で
慈悲深き御方

その命と引き換えに
我らを御救い下さる

ただし
罪人の命は我らが
進んで捧げねば
ならぬ
これは忠義の行い!!

敗北の責は
愚かにも壁蝨様に
刃を向けた



艶家の男どもの
責とし

従う者は
顔を上げよ

意義のある者は出よ
首でその不敬を許す



よろしい♡

それでは

皆の忠義の証に伝統の『契り処刑』を行う



オラ歩けッ

艶家の賊どもの首を並べよ



主様

反意のある者はおりません♪

我が配下に随分と教育されたようだの

ふむ

種壺



我に艶国を捧げよ

さあ 忠誠の首級を我に献上せよ 斬首を宣言し



オラッ 頭を垂れよッ!!

うぐう…ッ

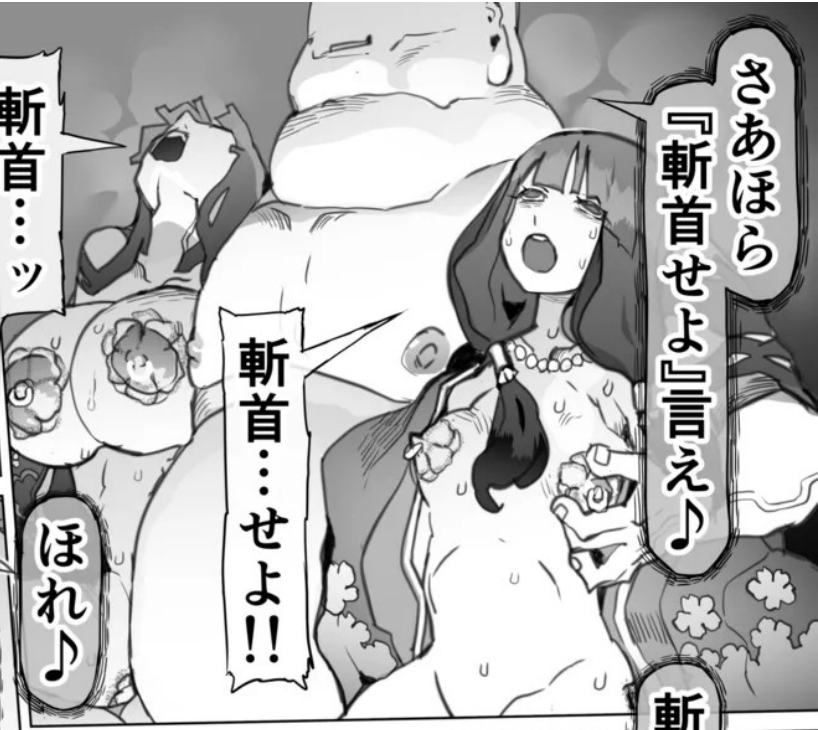


ほれみろ

お前の言葉で命が
消し飛ぶぞ!

よろし
やれ!

斬首…ッ
せよ!!



さあほら

『斬首せよ』言え!

斬首…せよ!!

ほれ!



斬首せよ!

斬首ッせよおおッ!!



斬首せよ!

斬首せよおおッ!!



おおお オ〜ッ…!!

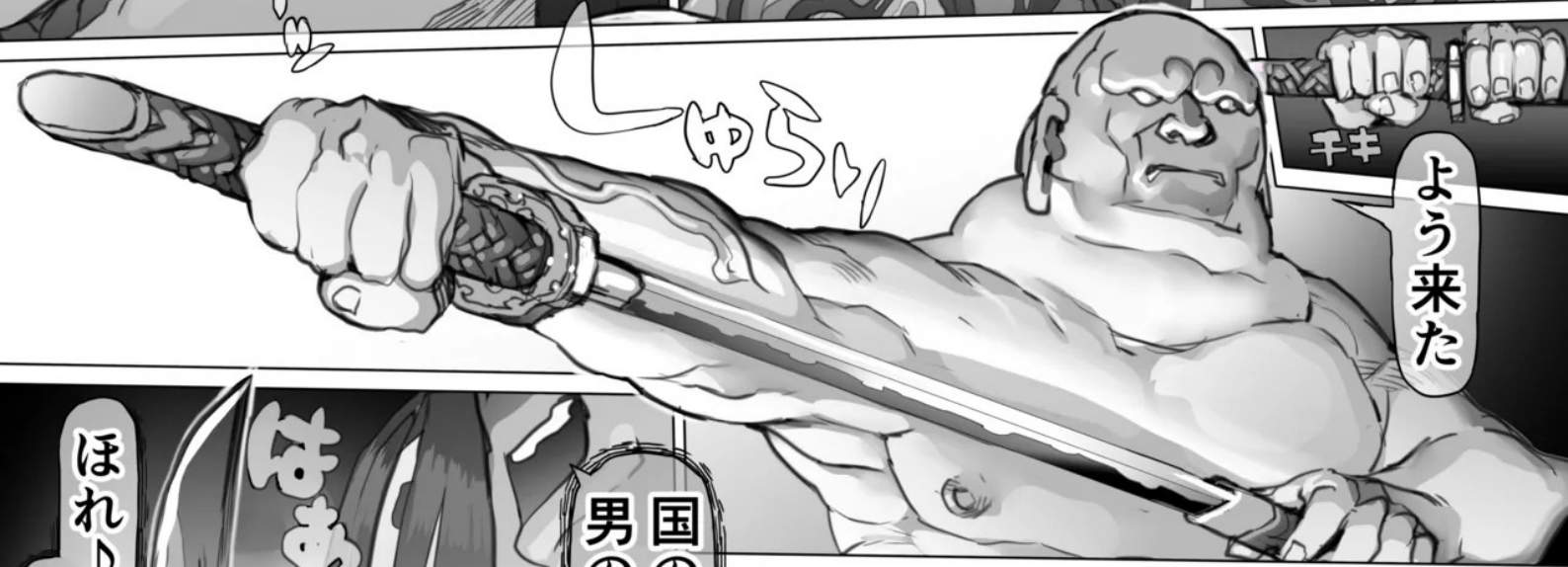
Multiple instances of 'XII' sound effects.



そうだあ♪
いいぞオ♪
興奮するだろお♪

はあ
はあ
う〜…ッ
あ〜…ッ
この首級は
お前らの功績よ♪

紫喜をお持ち
しました♪
ひた
ひた



よう来た

ゆら



穢蝶
お主が直々に
やるのだ♪

あ…

国の長であった
男の首級を取る

ほれ♪
斬れ♪
やれば第一功ぞ



我が手と成り
殺戮を犯せ

悪の快楽を
感じてみよ

よう見てみい

もはや
何の役にも立たん
愚鈍ぞ

ほれ



我に忠義を
働く行為

それは
快感

破壊

破滅
幸福



儂が背を

押してやろう

紫喜

最後に申すことは
あるか?
外してやれ



はあ
死ね

はあ

はあ
はあ
はあ

こらっ…



し…死蜂
さまあ…♪

次の…肛虐めを
お願い…申すう…♪

えぐ強い
ので…
掻き混ぜて…
…くだされえ



死ね

死ね
死ね

死ね

死ね

死ね



よし
ようやくたっ♪

あッ

あ

うッ



どちや

しゃ

褒美じゃ覚えろ♪

瞬間 肛門の器具が一気に
引き抜かれる!! 閃光
背骨に稲妻

殺戮のカタルシスと
肛門解放
爽快感の爆発

絶叫

その妖しくも
激しい嬌声は

邪淫に調教された
雌奴隷の群れに

興奮の炎をつけた





そして...

斬れッ

性奴隷たちによる
処刑の宴がはじまった

首を切っては絶頂

首を切っては絶頂

斬れッ



艶家女衆の最上位

霞ノ方が城主紫喜を斬った

それにより

すべての女衆の
本能が理解した

首を切ります

従うべき王が

代わったと

死ね

この御方こそ
新たな王と

死ね



トロ

そうなればここに並ぶ

『役立たずども』は



忠誠の邪魔者

ゴミン



いや…むしる

新しき王への供物

ほれ褒美だ♪

小難しいことは
忘れて『コレ』に

没頭するが良い♪

血の狂乱

背徳の興奮

その決断を肯定する
かのように

クソ穴快感の褒美を与える



オラッ

イケえッ笑

腸をめくり出す

無慈悲な引き抜きに

二姫はだらじなく

絶頂した

この日…艶国は

完全に滅亡した





おおお！
黒雲軍じゃ

尊じゃ

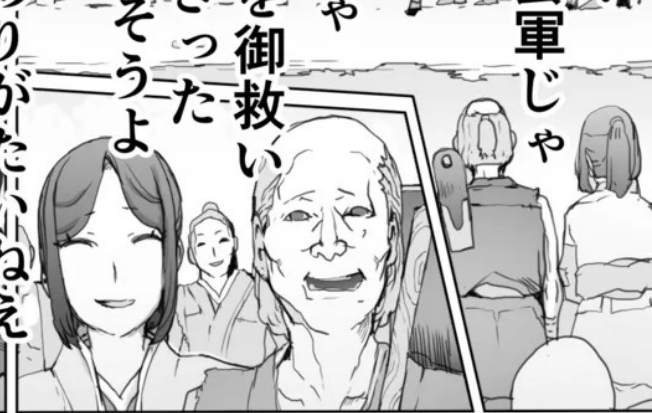
国を御救い
下さった

そうよ

ありがたいねえ

玄繩様

お待ちして
おりました



して…



はッ

穢蝶

玄繩様に
挨拶をせい

はい

壁蝨様のしもべ
穢蝶でございます



さすがは
壁蝨入道よ
我が国の兵を損耗させず
艶を獲りおったか

褒美として

旧艶城の権益と
周辺地域一万石を授ける

黒雲国総大将

黒雲玄繩

げんじょう

はッ





こ奴が羽衣国が次女
霞姫…だった女か♪

はい

羽衣を攻むるに
善き情報を献上
いたします

のう？

はい…♪



ほう
真の情報か？
まこと

疑いなしと
存じます

こ奴の穴には厳しく
『しつけ』を施しまして

ふふふ

良からう



羽衣の将どもを
捕えた暁には
お主らにくれてやる

ありがたき幸せ

羽衣の男を斬首する
夢想で女陰を
滾たぎらせております

この時も
今か今かと

淫

さあ…穢蝶♪

羽衣国のすべてを
我らに献上せよ

おぬしのお漏らしで
滅ぶ羽衣を想像せよ

軍馬に踏み殺されて
糞まみれになる羽衣を
想像せよ♪

はい…
主…様♪

ほれ機密を
漏らせ♪

さすればその穴に
穢れた悪の快感を
存分に与えてやろう

陶醉せよ

ほれ♪

ほれ♪

ううう
〜ッ♪

ズン!

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



黒雲国は旧艶領内に
大軍と物資を運び入れ

一揆により疲弊した
民に食料を配し

地区統制の配置に
現地農民を登用した

一揆の原因であると
された艶家を滅し

腐敗した役人の処刑を
民に見せつけた黒雲は
今や民の英雄であった

すべては壁蝨の策謀で
あったとは知らず

英雄である壁蝨入道と
悪政を正した黒雲軍に
心酔し

羽衣国への戦に向けて
人足を徴用した際には
多くの者が殺到した
という

これが艶領騒乱の
顛末であった

そして黒雲軍は
羽衣への侵攻を開始した



おいしい

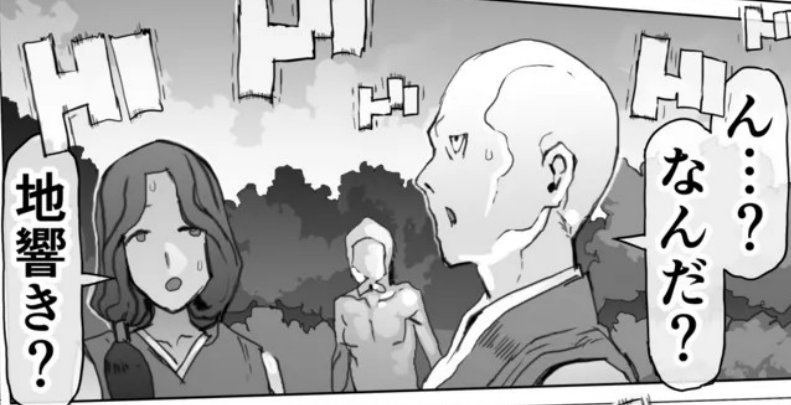
そろそろ

休憩だ



うわあッ!!

黒雲軍
だ〜ッ!!



ん…?
なんだ?

地響き?



焼けーッ!!

殺せーッ!!

終